

3 行政推進の基本姿勢と具体的な取り組み

人口構造の変化や厳しい財政状況、社会保障費の増加等、本市の行財政運営は大きな転換期を迎えています。こうした中、時代潮流の変化に迅速かつ的確に対応し戦略的に行政サービスの維持・向上を図るため、以下の3つの基本姿勢により基本計画の施策を推進するとともに、8つの具体的な取り組みを進めます。

【基本姿勢1】協働によるまちづくり

■市民との協働によるまちづくりの推進

市民に対し、市政情報の積極的な公開・共有に努め、市政への積極的な参画を促すとともに、多くの市民がそれぞれの役割を認識しながら多様な分野における地域まちづくり活動に主体的に参画できるような環境を整備します。担い手である市民等と行政がまちづくりの方向性を共有し、相互理解に基づく、多様な主体による「協働によるまちづくり」が推進されるよう努めます。

【基本姿勢2】持続可能な行財政運営

■健全な財政運営の推進

費用対効果の高い予算編成と効率的な予算執行に努めるとともに、財政の透明性を高め、市民に対する説明責任を適切に果たせるよう、統一的な基準による財務書類等を作成・公表するなど、わかりやすい財政情報の提供に努めます。

また、税負担の公平性の確保と納税秩序の維持のための活動や、公共施設の効率的な維持管理と削減・統廃合・再配置による効率化、普通財産の売却や賃貸借による有効活用などによる行政資源の有効活用に努めます。

■効果的・効率的な行政運営

P D C Aサイクルによる進捗管理の仕組みを推進し、施策の進捗状況や成果について検証するとともに、事務事業の必要性・有効性・効率性などについても検証・分析を行い、見直し・改善に取り組みます。また、総合的・計画的な政策立案機能、総合調整機能を強化し、部門間の連携による横断的な事業展開に努めます。

■行政情報システムの構築と事務効率の向上

行政情報システムの一括管理・一元化により、情報化関連コストを削減するとともに内部事務の効率化を図り、同時に端末の物理分離化など、多様化・高度化する新たな脅威に対する情報セキュリティ対策の強化に努めます。

■人材の育成

職員研修の充実と多様化により、政策形成能力や創造的能力、コスト意識、経営感覚、並びにチャレンジ精神に満ちた人材の育成に繋がります。また、人事評価制度を活用することで、能力・実績に基づく人事管理を徹底するとともに、人間関係の円滑化、職員の士気向上に努めます。

■業務改革の推進

人口減少、少子高齢化など社会環境の変化に柔軟に対応する行政運営をすすめるため、より質の高い行政サービスの提供や効率的な経営の視点に立った行政体制を確保し、行財政改革の積極的な推進を図ります。

また、民間との適切な役割分担のもと、コスト削減やサービス向上が期待できるものは、施設や業務の性質を見極めた上で、アウトソーシング化や指定管理者制度の活用、民間委託の拡大に取り組むなど、民間活力やノウハウの有効活用に努めます。

【基本姿勢3】多様な連携の推進

■広域行政の推進

環境対策、防災対策、医療、福祉に関する地域を越えた連携が必要な課題について、効率的な広域行政の連携を展開するとともに、固有の魅力と活力を生かしながら新たな可能性を創造、発信する連携体制の構築に努めます。

■産官学との連携

多様化・複雑化する行政や地域の課題解決を目指すため、大学や民間事業者との研究・人的交流を進めるとともに、専門的知識を活用するなどの連携に努めます。